

Integrated AV Controller

AV01

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機を正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものですので、必ずお守りください。

「警告」「注意」表示の意味

誤った取り扱いをすると生じることが想定される、危害や損害の程度と内容を明示するために、「警告」と「注意」に区分して記載しています。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

記号表示の意味

取扱説明書および製品に表示されている記号には、次のような意味があります。



「ご注意ください」という注意喚起を示しています。



～しないでくださいという「禁止」を示しています。



「必ず実行」してくださいという強制を示しています。

警告



電源は交流 100V を使用する。
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



濡れた手で本機を使用しない。
感電のおそれがあります。



付属の電源コードを使用する。
故障、発熱、火災などの原因になります。



内部に水や異物を入れない。
水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池や接続コードを抜いて必ずお買い上げ店または巻末の弊社窓口にご相談ください。



電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものを乗せない。
コードが破損し、感電や火災の原因になります。



安全アースを接続する。
安全アースを接続しないと、感電の原因になります。次の方法で安全アースを接続してください。



機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。
異常を感じた場合などの点検や修理は、必ずお買い上げ店または巻末の弊社窓口にご依頼ください。

・**電源コンセントが3極の場合**
付属の電源コードを使用することで、安全アースが接続されます。



機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
感電や火災、故障の原因になります。

・**電源コンセントが2極の場合**
付属の2Pプラグ変換アダプターを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を、電源コンセントなどに備えられているアース端子に接続する。



機器を落とすなどして破損した場合、電源コードのプラグやコードが傷んだ場合、または使用中に音が出なくなったり異常なおい煙が出た場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜く。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。

至急、お買い上げ店または巻末の弊社窓口にて点検をご依頼ください。

⚠ 注意



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



機器を電源コンセントの近くに設置する。電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



機器を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、転倒してけがをする原因になります。



密閉された狭いところに押し込めたりしない。機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。風通しの良い場所に、機器を壁や他の機器から左右に 10cm、後に 20cm 以上離して、設置してください。



不安定な場所に置かない。機器が転倒、落下してけがをしたり、故障する原因になります。



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



吸気口・排気口をふさがない。

機器の側面には、吸気口・排気口があります。

この吸気口・排気口をふさいだり、機器をあお向けや横倒し・逆さまにすると、機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



スピーカーの接続には、スピーカー接続専用のケーブルを使用する。

それ以外のケーブルを使うと、火災の原因になることがあります。



他の機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。

また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量を最小にする。

感電、聴力障害または機器が損傷することがあります。



機器の吸気口・排気口やパネルのすき間などに手や指を入れない。

けがをする原因になります。



製品の上に乗らない、重い物を乗せない。機器が破損したり、けがをする原因になります。



ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

機器が破損する原因になります。



機器の手入れをするときは、必ずコンセントから電源コードのプラグを抜く。

感電の原因になることがあります。

特 長

本機は、RGB 対応の AV セレクター、デジタルミキサー、デジタルパワーアンプ、プロジェクターなどの外部機器制御機能を、2U サイズに収めたインテグレートッド AV コントローラーです。

RGB 信号対応の AV セレクターを装備

RGB 信号入力 3 系統、コンポジットビデオ信号入力 2 系統の映像信号と、これらのオーディオ信号を切替える AV セレクターを装備。
RGB 系統は、コンポーネント信号の入出力も可能です。

デジタルミキサー搭載

24bit/48kHz サンプリングの A/D、D/A コンバーターと、高性能 DSP を使用したデジタルミキサーを搭載。
マイク系統には、ハウリングサプレッサーをはじめ、マイク未使用時のノイズをカットするゲート機能、音量を均一に保つコンプレッサ機能など、拡声の質向上に効果的な機能を装備しています。

高音質フルデジタルパワーアンプ搭載

デジタル信号の状態ですべての処理を行なうことにより、高音質を実現したフルデジタルパワーアンプを 4 チャンネル搭載しています。
スピーカー 1 出力は 40W+40W(8Ω)、スピーカー 2 出力は 30W+30W(8Ω) の出力が可能です、広い空間にも対応することができます。

ハイインピーダンススピーカー対応

スピーカー出力 2 はハイインピーダンススピーカー(30W 100V ライン)の接続も可能です。

簡単な操作

運用時には、AV 入力選択、マイク系統の音量、AV 系統の音量だけの操作で使えます。

簡単な調整

入出力系統の音量調整と、スピーカー出力とライン出力に送出する音声を選択するアサインスイッチの設定のみで使えます。
必要に応じてハウリングサプレッサーの設定を行なうことができます。
調整用のつまみ類は前面のカバーの中に装備しています。

プロジェクターの操作が可能

プロジェクター制御端子を装備しており、電源の操作や AV セレクターと連動させての入力選択などが可能です。

リモート接点出力端子を装備

スクリーンやパワーディストリビューターなどを前面のリモートボタンや電源ボタンから制御ができます。

各種リモート端子を装備

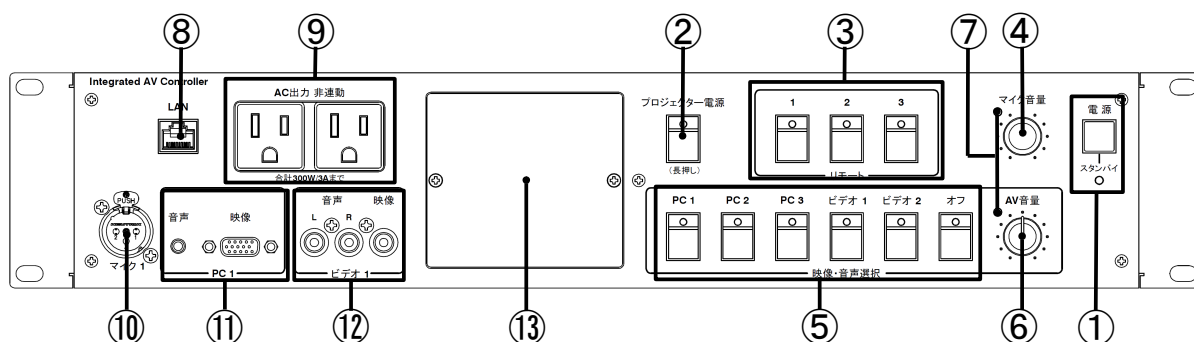
外部のシステムコントローラやコントロールパネルから、音量、AV 入力選択などを制御できます。

※ この取扱説明書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

※ この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

各部の名称と働き

前面（カバー装着状態）



① 電源スイッチ・スタンバイインジケータ

本機の電源をオン/スタンバイします。
誤操作防止のため約0.5秒以上押さないと動作しません。
電源がオンのときはボタンが点灯、スタンバイのときはスタンバイインジケータが点灯します。
電源がオンになるとリモート接点出力端子の電源制御接点がオンになります。

② プロジェクター電源ボタン

プロジェクター制御端子に接続された機器の電源をオン/スタンバイします。
誤操作防止のため約2秒以上押さないと動作しません。
機器がオンもしくはスタンバイの準備中の間、ボタンのインジケータが点滅します。

③ リモートボタン1～3

スクリーンなどの環境機器の操作を行なうボタンです。
ボタンを押すとリモート接点出力端子の対応する系統の接点がオンになります。

④ マイク音量つまみ

マイク系統の音量を調整します。
マイク入力1・2をミックスした信号が、マイク系統の信号になります。

⑤ 映像・音声選択ボタン

AVセレクトから出力するAV入力系統を選択します。
AVセレクト PC1～PC3入力の映像信号はRGB（コンポーネント）信号、ビデオ1・ビデオ2入力の映像信号はコンポジットビデオ信号になります。

⑥ AV音量つまみ

AV系統の音量を調整します。
AVセレクトで選択されたチャンネルとライン入力をミックスした信号が、AV系統の信号になります。

⑦ シグナルインジケータ

各系統の信号が基準レベルから約-30dB以上のときは緑色に点灯し、クリップレベルから約-3dB以上のときは赤色に点灯して、過大入力であることを表示します。
赤色に点灯するときは、点灯している系統の入力音量つまみ（次頁参照）を下げてください。

⑧ LAN端子

後面のLAN中継端子と接続されています。

ご注意

この端子から本機は制御できません。

⑨ AC出力（非連動）端子

常時ACが出力されています。
合計300W/3Aまでの機器を接続することができます。

⑩ マイク入力1端子

（XLR-3-31タイプ、バランス、2番ホット）
マイク入力1の入力端子です

ご注意

マイク入力にはローカットフィルターなどスピーチに最適化された機能が入っていますので、音楽再生の用途には適しません。

⑪ PC入力1端子

（HD D-sub15ピン凹、ステレオミニジャック）
AVセレクトのPC入力1チャンネルの映像と音声の入力端子です。

⑫ ビデオ入力1端子（ピンジャック）

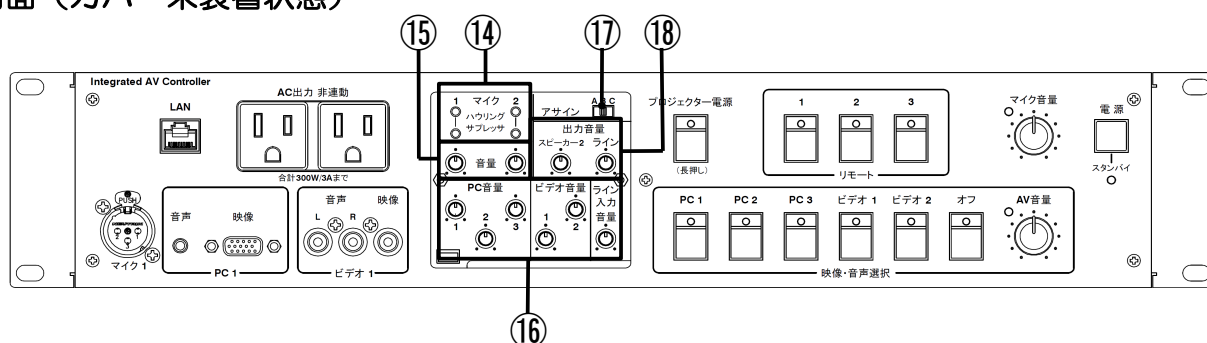
AVセレクトのビデオ入力1チャンネルの映像と音声の入力端子です。

⑬ フロントカバー

初期調整用のつまみ、スイッチ類を隠すためのカバーです。
カバー両端の2つのねじを外すと、カバーを取り外すことができます。

各部の名称と働き

前面（カバー未装着状態）



⑭ ハウリングサプレッサーボタンとインジケータ

マイク入力チャンネルごとに、ハウリングサプレッサーの設定やオン/オフを行ないます。ボタンを押すとオン、オフを選択できます。オンのときはインジケータが点灯し、オフのときは消灯します。オフ状態から約2秒間ボタンを押し続けると設定を開始します。設定中はインジケータが点滅します。ハウリングサプレッサーの設定方法は9ページをご覧ください。

⑮ マイク入力音量つまみ

マイク入力1・2の音量を設定します。基本的には中央に合わせて使用し、音量が小さい、シグナルインジケータが赤色に点灯するなど、調整が必要なときのみ操作してください。

⑯ 入力音量つまみ

AVセレクターの各チャンネル、ライン入力の音量を設定します。基本的には中央に合わせて使用し、音量が小さい、シグナルインジケータが赤色に点灯するなど、調整が必要なときのみ操作してください。

⑰ アサインスイッチ

スピーカー1出力およびスピーカー2出力へ送る信号を選択します。

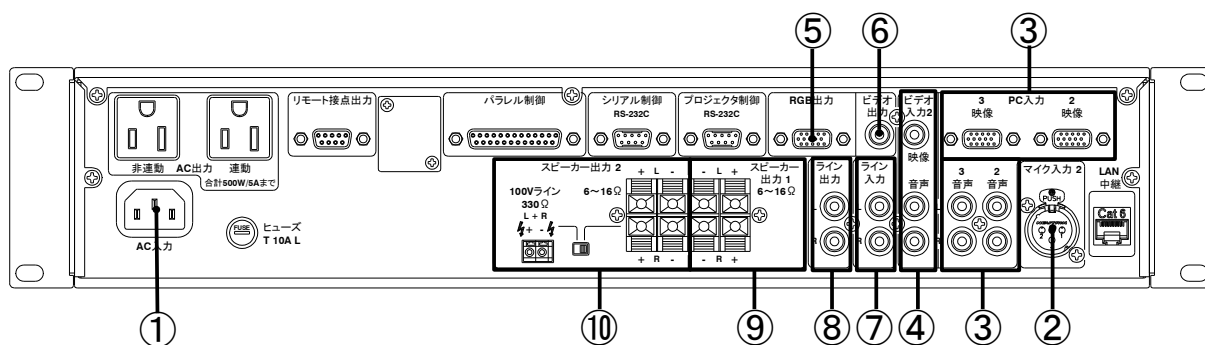
	スピーカー1	スピーカー2
A	AV	マイク + AV
B	AV	マイク
C	マイク + AV	マイク + AV

⑱ 出力音量つまみ

スピーカー2出力、ライン出力の音量を調整します。

各部の名称と働き

■後面



① AC入力端子

付属の電源コードを接続します。

② マイク入力2端子

(XLR-3-31 タイプ、バランス、2 番ホット)
マイク入力2の入力端子です。

ご注意

マイク入力にはローカットフィルターなど
スピーチに最適化された機能が入っています
ので、音楽再生の用途には適しません。

③ PC入力2・3端子

(HD D-sub15ピン凹、ピンジャック)
AVセレクト PC入力2・3チャンネルの
映像と音声の入力端子です。
映像入力端子はRGB信号またはコンポーネ
ント信号が使用できます。

④ ビデオ入力2端子 (ピンジャック)

AVセレクト ビデオ入力2チャンネルの
映像と音声の入力端子です。

⑤ RGB出力端子 (HD D-sub 15ピン凹)

AVセレクト PC入力1~3が選択されて
いるとき、選択されているRGB信号・コン
ポーネント信号を出力します。
映像方式の変換は行ないませんので、RGB信
号で入力したチャンネルはRGB信号、コン
ポーネント信号で入力したチャンネルはコン
ポーネント信号のまま出力されます。
ビデオ入力1・2が選択されているときは出
力されません。

⑥ ビデオ出力端子 (ピンジャック)

AVセレクト ビデオ入力1・2が選択さ
れているとき、選択されているコンポジット
ビデオ信号を出力します。
PC入力1~3チャンネルが選択されていると
きは出力されません。

⑦ ライン入力端子 (ピンジャック)

CDプレーヤーなどのオーディオ機器用の入
力端子です。

⑧ ライン出力端子 (ピンジャック)

外部にパワーアンプなどを接続するときに使
用します。
マイク入力、ライン入力、AVセレクトの
音声信号をミックスして出力します。

⑨ スピーカー1出力端子 (プッシュターミナル)

インピーダンス6~16Ωのスピーカーが使用
できます。

⑩ スピーカー2出力端子

インピーダンス切替スイッチ
(プッシュターミナル、スクリューレス端子台)
スイッチを右側にするインピーダンス6~
16Ωのスピーカーがステレオで使用できます。
スピーカーはプッシュターミナルに接続して
ください。
スイッチを左側にする定格入力の合計が
30Wまでの100Vライン用のスピーカーが
使用できます。
(インピーダンス330~10kΩ)
ステレオ信号はモノラルに変換されます。
スピーカーはスクリューレス端子台に接続し
てください。
接続方法は電線先端の被覆を11mm剥いて
穴の奥まで強く差し込むと接続されます。
外すときは穴上部のレバーをマイナスドライ
バーで押しながら電線を引き抜きます。
接続には次の電線を使用してください。

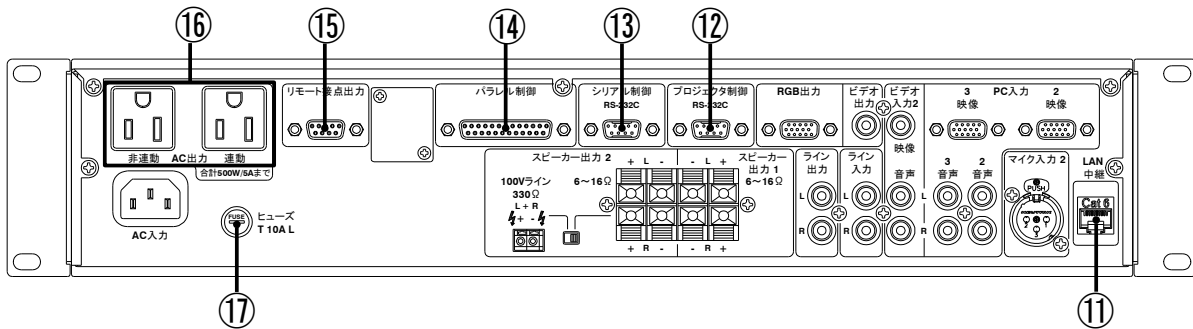
単線：φ0.5~φ1.0mm (AWG24~18)
撚線：0.2~0.75mm² (AWG24~18)
素線径 φ0.18mm以上

ご注意

スクリューレス端子台は危険な活電部になり
ます。この端子への配線接続は、適正な取扱
指導を受けた方が行なってください。

各部の名称と働き

■後面



⑪ LAN 中継端子 (RJ-45)

前面の LAN 端子と接続されています。
前面に接続する PC を LAN に接続するために
使用します。

ご注意

この端子から本機は制御できません。

- ⑫ プロジェクター制御端子 (D-sub 9 ピン 凸)
本機の RGB 出力端子、ビデオ出力端子を接続
する外部のプロジェクター、ディスプレイを
制御する RS-232C 端子です。
AV セレクターの選択状態、前面のプロジェク
ター電源ボタンなどに応じて、制御コマンド
を送ることができます。
制御コマンドの設定などの詳細は、お買上げ
店または巻末の弊社窓口までご相談ください。

- ⑬ シリアル制御端子 (D-sub 9 ピン 凸)
外部システムコントローラーから本機を制御
するための RS-232C 端子です。
制御プロトコルなどの詳細は、お買上げ店ま
たは巻末の弊社窓口までご相談ください。

- ⑭ パラレル制御端子 (D-sub 25 ピン 凹)
外部のスイッチ、ボリュームから本機を制御
するための端子で、フロントカバー内の機能
を除く 前面と同じ操作が外部から可能です。
(フロントカバー内の機能は除く)
詳細は、お買上げ店または巻末の弊社窓口ま
でご相談ください。

- ⑮ リモート接点出力端子 (D-sub 9 ピン 凹)
スクリーン、パワーディストリビューターな
どを制御するための端子です。
前面のリモート 1～3 ボタンが押されると対
応する系統の接点がオンになり、電源がオン
されると電源制御接点がオンになります。

⑯ AC 出力端子

連動側は電源と連動して AC 出力がオン/オフ
されます。
非連動側は常時 AC が出力されています。
合計 500W/5A までの機器を接続することが
できます。

⑰ ヒューズ

本機が故障のとき、および AC 出力端子に表
示している定格電力以上の機器を接続したと
きに切れることがあります。
切れたときはお買上げ店または巻末の弊社窓
口にご相談ください。
交換するときは必ずヒューズが切れた原因を
取り除いた後に、容量 10A、外形 $\phi 5\text{mm} \times 20\text{mm}$ 、耐ラッシュ形 (低遮断容量) の
ヒューズに交換してください。

マイク入力機能

マイク入力には、拡声の質向上に効果的な機能が装備されています。

ローカットフィルター

100Hz -12dB/oct のローカットフィルターにより、タッチノイズや近接効果による低域の増加を抑制します。

ハウリングサプレッサー

あらかじめハウリングが起りやすい周波数を調べ、その周波数のゲインを下げることによりハウリングを抑制します。

コンプレッサー

ダイナミックレンジを圧縮することにより、音量を均一に保ちます。
また、ハウリングが発生したときに、ハウリング音が急激に大きくなることを防ぐ効果もあります。

ノイズゲート

マイク未使用時の耳障りなノイズをカットします。

ハウリングサプレッサーの使用法

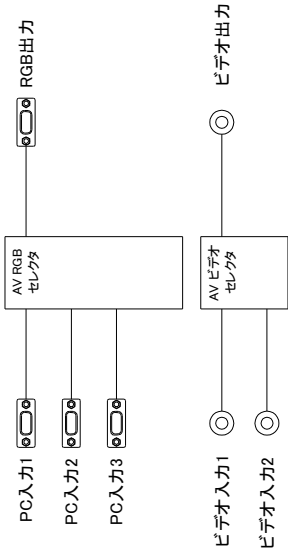
ハウリングサプレッサーを使用するときは、次の設定作業が必要です。

ハウリングサプレッサーの設定手順

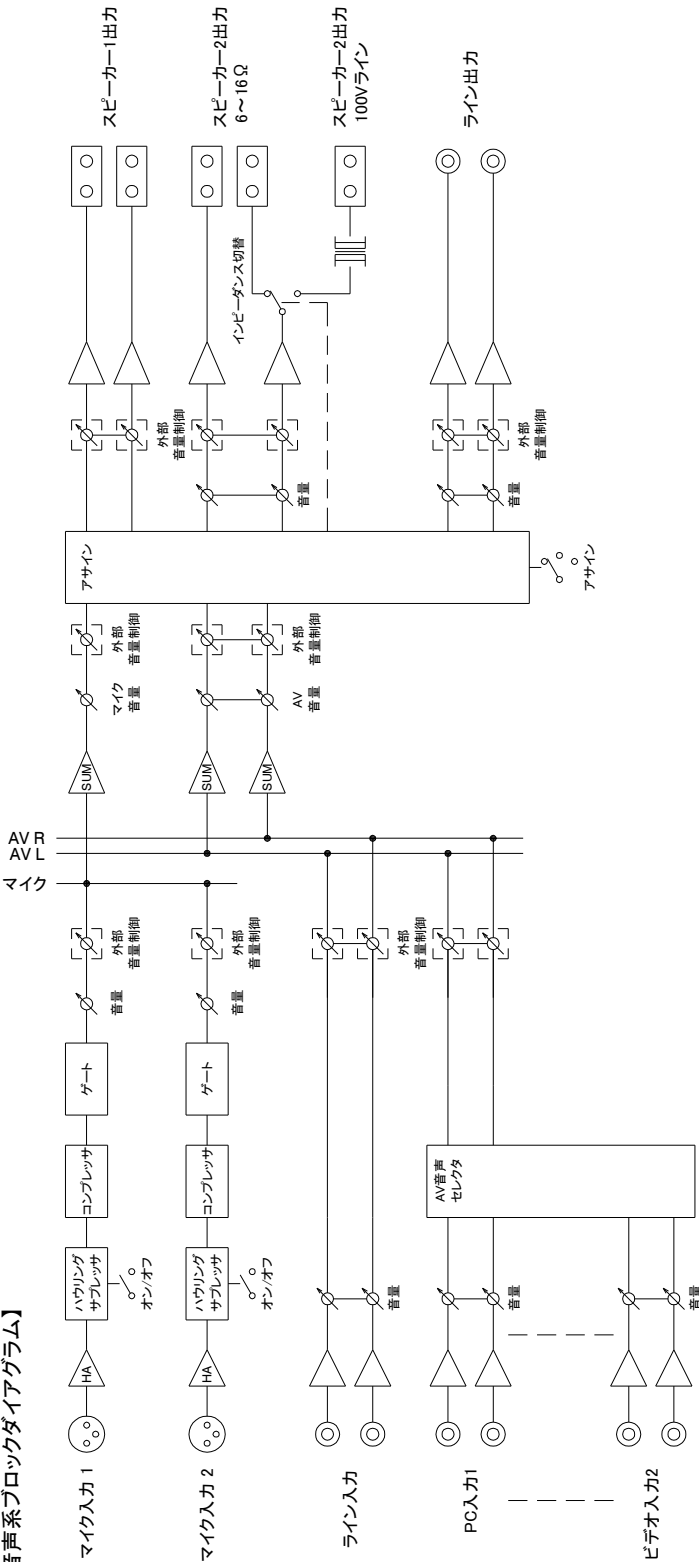
- ① マイク入力のレベルつまみを調整します。
- ② マイク音量つまみを実際に使用する音量に調整します。
- ③ 使用する位置へマイクを設置します。
手に持って使用するときは、使用する位置で手に持った状態で設定を行ないます。
- ④ ハウリングサプレッサーボタンを押して、オフの状態（インジケータ消灯）にします。
- ⑤ ハウリングサプレッサーボタンを2秒以上押して、設定を実行します。
設定が実行されるとインジケータが点滅し、完了すると点灯に変わります。

ブロックダイアグラム

【映像系ブロックダイアグラム】



【音声系ブロックダイアグラム】



主な仕様

マイク入力 1~2

端子形状	: XLR-3-31 タイプ (バランス、2 番ホット)
インピーダンス	: 3kΩ 以上
基準レベル	: -40dBu~-60dBu
最大レベル	: -25dBu

AV セレクター入力音声・ライン入力

端子形状	: ピンジャック
インピーダンス	: 10kΩ 以上
基準レベル	: 0dBu~-20dBu
最大レベル	: +10dBu

ライン出力

端子形状	: ピンジャック
インピーダンス	: 100Ω
適合負荷	: 10kΩ 以上
基準レベル	: -10dBu
最大レベル	: +10dBu

スピーカー 1 出力

端子形状	: プッシュターミナル
適合負荷	: 6Ω~16Ω
最大出力	: 40W + 40W (8Ω JEITA)

スピーカー 2 出力

<ローインピーダンス時>	
端子形状	: プッシュターミナル
適合負荷	: 6Ω~16Ω
最大出力	: 30W + 30W (8Ω JEITA)

<ハイインピーダンス時>	
端子形状	: スクリューレス端子台
適合負荷	: 330Ω~10kΩ
最大出力	: 30W (100V ライン)

AV セレクター PC 入力 1~3 映像

端子形状	: HD D-sub15 ピン 凹
信号形式	: RGB / コンポーネント

AV セレクター ビデオ入力 1・2 映像

端子形状	: ピンジャック
信号形式	: コンポジットビデオ

RGB 出力

端子形状	: HD D-sub15 ピン 凹
信号形式	: RGB / コンポーネント

AV ビデオ出力

端子形状	: ピンジャック
信号形式	: コンポジットビデオ

電気特性

<オーディオ (ライン入出力) >	
周波数特性	: 20Hz~20kHz ±0.5dB (1kHz 基準)
全高調波ひずみ率	: 0.01%以下 (1kHz、ライン出力)
S/N 比	: 94dBu 以上 (ライン出力、IHF-A)

<RGB / コンポーネント>	
周波数特性	: 50Hz~150MHz
RGB 対応解像度	: 1920 x 1200 @60Hz (WUXGA)
RGB 映像信号	: 0.7Vp-p 75Ω
RGB 同期信号	: TTL レベル
コンポーネント信号	: Y:1Vp-p 75Ω R-Y/B-Y:0.7Vp-p 75Ω

<コンポジットビデオ>	
周波数特性	: 50Hz~10MHz
レベル	: 1Vp-p 75Ω

プロジェクター制御・シリアル制御

端子形状	: D-sub 9 ピン 凸 インチねじ
電氣的仕様	: RS-232C
ピン配列	: 1: 未接続 2: RXD 3: TXD 4: DTR (内部で DSR と接続) 5: GND 6: DSR (内部で DTR と接続) 7: RTS (内部で CTS と接続) 8: CTS (内部で RTS と接続) 9: 未接続

パラレル制御

端子形状	: D-sub 25 ピン 凹 M2.6 ねじ
音量制御入力	: 入力 - GND 間へ 10kΩ B ボリュームを接続
電源制御入力	: 入力 - GND 間にオルタネイト動作 スイッチを接続
操作ボタン入力	: 入力 - GND 間にモーメンタリ動作 スイッチを接続
LED 出力	: 出力 - +24V 出力間に LED を接続 オープンコレクター出力 最大定格 DC24V 80mA

ピン配列	
1: 音量制御用 GND	14: AV 音量制御入力
2: マイク音量制御入力	15: 電源制御入力
3: 電源 LED 出力	16: OFF 選択 LED 出力
4: ビデオ 2 選択 LED 出力	17: ビデオ 1 選択 LED 出力
5: PC3 選択 LED 出力	18: PC2 選択 LED 出力
6: PC1 選択 LED 出力	19: プロジェクター電源 LED 出力
7: 電源 SW 入力	20: OFF 選択 SW 入力
8: ビデオ 2 選択 SW 入力	21: ビデオ 1 選択 SW 入力
9: PC3 選択 SW 入力	22: PC2 選択 SW 入力
10: PC1 選択 SW 入力	23: リモート 3 SW 入力
11: リモート 2 SW	24: リモート 1 SW 入力
12: プロジェクター電源 SW 入力	25: GND
13: +24V 出力 (最大 200mA)	

主な仕様

リモート接点出力

端子形状	: D-sub 9ピン 凹 インチねじ
最大定格	: DC50V 100mA
ピン配列	: 1 - 6: リモート 1 接点 2 - 7: リモート 2 接点 3 - 8: リモート 3 接点 4 - 9: 電源制御接点 5: GND

LAN 中継端子

端子形状	: RJ-45 (CAT6 対応) (前面と後面の端子を中継)
------	------------------------------------

AC 出力

前面	: 非連動 2 合計 300W/3A
後面	: 連動 1/非連動 1 合計 500W/5A

一般

寸 法	: 482mm x 88mm x 160mm (幅 x 高さ x 奥行、突起部含まず) EIA 標準 2U サイズ
質 量	: 約 3.8kg
電 源	: AC100V 50/60Hz
消費電力	: 80W (電気用品安全法, 1/8 出力)
付属品	: 取扱説明書 (1) 電源コード (1) 2P プラグ変換アダプタ (1) フット (4) ラックマウント金具 (2) マウント金具取付ネジ (4)

※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

アフターサービスについて

保証書

この取扱説明書には保証書が記載されています。所定事項の記入および「保障規定」の項目をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。

記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わず巻末の弊社窓口へご連絡ください。

損害に対する責任

この商品（搭載プログラムを含む）の使用または使用不能により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益）については、弊社は一切その責任を負わないものとします。

また、如何なる場合でも、弊社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをお確かめください。

それでも改善されないときには、お買い上げ店、または弊社窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは「保証規定」の項目をご覧ください。

保証期間経過後につきましては、修理によって機能が維持できるときは、ご要望により有料修理をいたします。

製品の運送にかかる往復の費用は、無償修理の場合は弊社負担、有償修理の場合はお客様負担とさせていただきます。

尚、弊社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3ヶ月以内に限り無償修理いたします。

保証書

保証規定

本保証書は保証期間内の無償サービスをお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付属品類は保証の対象になりません。

保証期間内に本製品が故障した場合は、本規定に基づいて無償修理いたします。

1. 本保証書の有効期間はお買い上げ日より1年です。
2. 保証期間内において、取扱説明書・本体上のラベルなどの注意書きに従った、正常なご使用状態で発生した故障については、次の場合を除き、無償修理いたします。
 - ・お取扱い方法が不適当のために生じた故障
 - ・お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障や、損傷および使用中に生じたキズ・汚れなどの外観上の変化

- ・地震、落雷、風水害、その他の天災地変、火災、公害、ガス、異常電圧による故障や、損傷天災（火災、浸水等）によって生じた故障

- ・故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合

- ・不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷

- ・保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合

- ・保証書のご提示がない場合

3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

4. 保証期間内に無償修理をお受けになる場合は、お買い上げ店・又は弊社にご依頼のうえ、修理の際に保証書をご提示ください。

5. 本製品は持込み修理となります。
お客様のご事情により出張修理を依頼された場合、保証期間中であっても出張料金を申し受けます。

保証書

機種名 インテグレートッドAVコントローラー AV01

保証期間 お買い上げ日より一年間

お買い上げ日 年 月 日

販売店名

■本保証書は、上記の保証規定により無償修理をさせていただくことをお約束するものです。

■保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店、または弊社に修理をご依頼ください。

■本書は再発行いたしません。

所定事項の記入および内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

オズ株式会社

オズ株式会社

〒101-0042

東京都千代田区神田東松下町 12-1

TEL : 03-3525-8745

FAX : 03-3525-8746

URL : www.oz-audio.com

© 2014 OZ Corporation
Printed in japan E51